

平成30年度 教育事業 教員免許状更新講習

- 1 趣 旨 教員が体験活動の意義について理解するとともに、児童生徒の集団宿泊学習等を効果的に実施するための基本的な体験活動の指導技術を身に付ける。また、学習指導要領における体験活動の取扱いについて理解し、教育活動における体験活動の取り入れ方を講義や実習を通して修得する。
- 2 期 日 平成30年8月22日（水）～24日（金） 2泊3日
- 3 対象者 主に小・中学校の教員及び同免許保持者 ※全日程を受講できる者
- 4 募集定員 40人
- 5 参加者 50人
- 6 指導者 人財科学研究所代表 工藤 智徳 氏
鹿屋市教育委員会教育長 中野 健作 氏
鹿児島県立博物館学芸主事 鈴木 淳 氏
鹿児島大学准教授 福満 博隆 氏
国立大隅青少年自然の家職員



7 日程と主な活動

8月 22日 (水)	13:00 13:30		14:00		17:30 18:00 19:00			20:30 22:00	
	受 付	開 講 式 オリエンテーション	【実習・講義】 「体験活動を通じた 人間関係づくり」			休 憩	夕 食	【講義】 「今日的教育課題 とその対応」	入 浴
8月 23日 (木)	9:00		14:30 15:00		18:00 19:00			20:30 22:00	
	朝 食	【実習】 「自然体験学習の方法Ⅰ」 (海浜活動の実際と安全 指導) ※途中、昼食有り	休 憩	【実習】 「自然体験学習の方法Ⅱ」 (野外調理の指導) ※夕食を含む。	夕 食・ 休 憩	【実習・講義】 「星座観察と 指導方法」			入 浴
8月 24日 (金)	8:30		12:30 13:30		15:00 15:30				
	朝 食	【講義】 「体験活動の意義と学習指導要領」 「体験活動における安全管理」 ※途中、休息有り	昼 食・ 休 憩	【評価】 「履修認定試験」			閉 講 式	解 散	

8 事業運営上の配慮

- 選択領域18時間分をまとめて受講できるように、日程を夏季休業中の2泊3日で設定した。
- 自然体験学習を子供たちが安全かつ効果的に実施できるように、また教員自身が知っておくべき知識や技能を身に付けられるように、実習と講義のバランスに注意してプログラムを設定した。
- 活動は異年代で構成し、宿泊部屋は主に同年代で構成して、交流の場を増やす工夫をした。

9 参加者の感想

- いろいろな面で配慮がなされており、教員生活で一番記憶に残る講習であった。
- 体験活動を行う際は、まず教師自身が内容や計画をしっかりと把握し、体験しておくことが大切であると改めて感じた。他県の先生方とも交流ができてとても有意義な3日間であった。

10 成 果

- 参加者が実習や講義に意欲的に取り組み、講習の満足度が高かった。また、海浜活動（ゴムボート体験及びレスキュー体験）は参加者にとって非常に新鮮で好評を得た。
- 専門的な知識・技能を持つ講師による実習や講義を通して、参加者は体験活動の基本的な指導技術を習得することができた。